

科目名	音楽科教育法 I・II A	形態	講義	開講期	春・秋
担当教員	柴田 篤志	単位	2	年次	2

＝授業科目の目標＝

中学校・高等学校で音楽の先生として授業を運営するための力をつけます。当座の目標は、教育実習で立ち往生しない程度の「状況対応力」を身につけることです。

＝履修の条件と学習の方法＝

教員免許を取ることを目的とするのではなく、実際に教員になろうと真剣に志していることが履修条件です。極めて実践的な授業運営をしますので、汗と涙を流すことをいとわないのであれば履修してください。

講義冒頭の四回でこの講義をどのように受講すると単位が取れるかについて詳説します。このシラバスだけでは説明できませんので、特に最初の四回の講義は必ず出席してください。

また、年間通して使用する重要な資料もこの四回でほとんど配布します。追加で発行はしませんので、必ず入手してください。なお、教科書は必携です。新学期の教科書販売の時期に購入しないと、書店では購入できません。計八冊は必ず入手してください。

＝授業内容＝

- 1回 オリエンテーション
- 2回 学習指導要領概説
- 3回 授業システム説明、模擬授業担当希望調査
- 4回 学習指導案作成法について
- 5回 模擬授業（その1）
- 6回 模擬授業（その2）
- 7回 模擬授業（その3）
- 8回 模擬授業（その4）
- 9回 模擬授業（その5）
- 10回 模擬授業（その6）
- 11回 模擬授業（その7）
- 12回 模擬授業（その8）
- 13回 模擬授業（その9）
- 14回 模擬授業（その10）
- 15回 模擬授業（その11）

＝成績評価の方法と評価の基準＝

授業には「システム」というルールブックが存在します。それに基づいて成績評価します。成績評価の基準は大変に厳しいです。出席を重視します。原則として皆勤を要求します。もちろん無遅刻であること。

ただし、皆勤して座っているだけでは単位はできません。授業に「どのように」参加したかを観点別に評価することで、一回の講義ごとに加点・減点がなされます。出席を満たしたことによってあたえられる“基本点”に、この加点・減点をあわせて単位が認定されます。基本点だけでは単位になりません。ですからテストやレポートは行いません。一回一回の授業がそのまま試験だと思ってください。

=テキスト（必携）=

《No. 1》

書籍名：中学生の音楽 1

出版社：教育芸術社

《No. 2》

書籍名：中学生の音楽 2・3 上

出版社：教育芸術社

《No. 3》

書籍名：中学生の音楽 2・3 下

出版社：教育芸術社

《No. 4》

書籍名：中学生の器楽

出版社：教育芸術社

《No. 5》

書籍名：中学音楽 1 音楽のおくりもの

出版社：教育出版社

《No. 6》

書籍名：中学音楽 2・3 上 音楽のおくりもの

出版社：教育出版社

《No. 7》

書籍名：中学音楽 2・3 下 音楽のおくりもの

出版社：教育出版社

《No. 8》

書籍名：中学器楽

出版社：教育出版社

教科書は必ず購入して下さい。